

学 科	作業療法士学科	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	発達障害治療学	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	昼間部2年生	学期	後期	教室名	802
担 当 教 員	中村 愛子				
実務経験と その関連資格	作業療法士として、障害児入所施設で17年間の経験を積み、2024年4月より作業療法室長として勤務。 主に2歳から20歳までの脳性麻痺、ダウン症などの染色体異常、筋ジストロフィー等の子どもたちに対し、生活動作や余暇活動に対する訓練、病棟スタッフと連携し退所支援等を実施。 施設外では、2022年度より養成校2校で発達障害の作業療法に関する授業を非常勤講師として担当。その他放課後児童デイサービスでの作業療法や支援学校で療育相談等を実施。 大阪府作業療法士会に所属し、2016年度より発達領域の部員として士会活動に参画し、2020年度より理事として活動。 2013年に近代ボバース概念小児領域8週間講習会修了。				
《授業科目における学習内容》 本授業では発達作業療法領域の対象となる方々の、姿勢、運動面からを観察でき、機能、活動の考察を挙げられることを目標に授業を展開していきます。①基礎となる、正常発達、姿勢反射、筋緊張を理解できる。②発達領域の対象児・者の特性と問題点を列挙できる。③観察から評価が始まり、仮説検証しながら作業療法が展開されることを知り、評価から治療立案までを理解することができるよう学習していきます。					
《成績評価の方法と基準》 定期試験:50% 小テスト:50%					
《使用教材(教科書)及び参考図書》 標準作業療法 発達過程作業療法 標準作業療法 作業療法評価学 医学書院					
《授業外における学習方法》 授業内容の予習、復習					
《履修に当たっての留意点》 発達領域は国家試験に約20点出題されます。予習、復習をしっかりと行い、覚えるべき知識は覚え、分からないことがあれば、質問をして成長していきましょう！何より、発達領域の作業療法の楽しさ、深さを感じてほしいです！いっぱい話し合いながら、一緒に良い授業にしていきましょう!!!いっぱい学習し、話し合う、そのような経験が将来、対象と出会ったときに生きてくると考えています！					
授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	授業の概要が理解できる		人間発達学全般	
	各コマにおける授業予定	授業オリエンテーション 作業療法の実際			
第2回	授業を通じての到達目標	発達障がい領域の作業療法、発達過程作業療法の基礎が説明できる。 1歳までの発達を説明できる。			
	各コマにおける授業予定	発達過程作業療法の理念と目的/歴史と変遷 人間の発達過程と作業療法に必要な知識:発達課題			
第3回	授業を通じての到達目標	反射・反応が説明できる。	標準作業療法評価学、人間発達学		
	各コマにおける授業予定	1歳までの姿勢運動の発達/姿勢反射・反応			
第4回	授業を通じての到達目標	反射・反応が説明できる。	標準作業療法評価学、人間発達学	小テスト①: 正常発達	
	各コマにおける授業予定	1歳までの発達: 姿勢運動の発達/姿勢反射・反応②			
第5回	授業を通じての到達目標	筋緊張について説明できる。	標準作業療法評価学		
	各コマにおける授業予定	姿勢反応(立ち直り・平衡反応)/筋緊張			

授業の方法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第 6 回	授業を通じての到達目標	筋緊張の評価の意味が言える。筋緊張の評価ができる。	標準作業療法評価学	小テスト②: 反射反応
	各コマにおける授業予定	筋緊張の評価		
第 7 回	授業を通じての到達目標	定型発達児の発達過程を言える		
	各コマにおける授業予定	こどもの作業、OTの対象疾患(P28～38)		
第 8 回	授業を通じての到達目標	初期評価～治療プログラム立案までを説明できる		小テスト③: 筋緊張
	各コマにおける授業予定	発達過程作業療法の実践の場:P56～69		
第 9 回	授業を通じての到達目標	脳性まひ児への姿勢・運動の援助が列举できる		
	各コマにおける授業予定	脳性まひP135～161		
第 1 0 回	授業を通じての到達目標	脳性まひ児への姿勢・運動の援助が列举できる		
	各コマにおける授業予定	脳性まひP135～161		
第 1 1 回	授業を通じての到達目標	神経発達障害群の理解ができ、対処方法が列举できる		
	各コマにおける授業予定	神経発達症群/神経発達障害群:P179～211		
第 1 2 回	授業を通じての到達目標	神経発達障害群の理解ができ、対処方法が列举できる		小テスト④: 脳性まひ
	各コマにおける授業予定	神経発達症群/神経発達障害群:P179～211		
第 1 3 回	授業を通じての到達目標	デシャンヌ型筋ジストロフィー症について説明できる		
	各コマにおける授業予定	筋ジストロフィー:P257～		
第 1 4 回	授業を通じての到達目標	二分脊椎について説明できる		小テスト⑤: 神経発達障 がい
	各コマにおける授業予定	二分脊椎症:P298～		
第 1 5 回	授業を通じての到達目標	まとめ		
	各コマにおける授業予定	まとめ		